

腹腔鏡下胆道手術研究会幹事会

日時:2023年2月25日(土)

13時30分

開催形式:WEB会議サービス「Zoom」

議題

1. 徳村弘実 挨拶
2. 梅澤昭子当番世話人 挨拶
3. 倉内宣明幹事: LCBDE の多施設共同試験について
4. 次回会長: 渡邊 学先生 東邦大学医療センター大橋病院外科
5. その他

- 代表をさせていただいております徳村です。
 - 今回の11回は1年ぶりの方もWEB開催。想像を超える70名以上。代表として感謝。梅澤当番世話人に感謝
 - 内容も3つのテーマで盛りだくさん。
 - 私臨床を少し離れてみてますと、手術手技料を執刀医にバックすることを働きかけていきたいと思っています。勤務医が、色んな意味で自立していない。
- ロボットでラパ胆という意見も聞きますし、アメリカ中国では10-15分でラパ胆をしている外科医も少ないとの情報も入ります。
- もう少しビジネスの側面を持ってほしいなど、老婆心ながら持ちます
- このLABSの会のあり方も注文や意見があればメールなり電話なりいただければと思います
 - 来年の12回は東邦大学大橋病院渡邊学教授に当番世話人をお願いしております

6. , 幹事会で説明の時間をいただきたく、
 ご検討をお願い申し上げます。5分で済ませてご意見を賜りたいと思います。レジメを作ります。話題「腹腔鏡下総胆管結石除去術の治療成績に関する多施設共同研究」について。前回の幹事会で 主旨を説明して許可。進捗状況報告:計画内容と登録書類ひな形(Google form)の簡単な紹介。倫理審査のことは松村先生との打ち合わせのうえで報告。実施方法:研究会内で参加施設の募集。メンバー外へはどうするか?手順。症例発生時に事務局(これから作る)にメール。事務局は施設に番号を振る,その施設における順番を振る。例,1の1とか。以後メール発信施設の施設名と患者IDは用いずに情報をやり取りをする。これによって誤送信時の情報漏洩を最小限にする。4. 症例登録:Google formです。Ver.upを数回行ったが、懸案事項と残っていると思われる未完部分についてご意見を集約し、完成させたい。5. 研究の共同作成者数名リクルート:上記の点検,登録 Formの完成6. ほか。UMINに登録も検討したい。